資料３－５

テーマ6
災害リスクを理解し避難行動につなげるための防災教育の推進

児童・生徒が自らの命を自らが守るための
新たな防災教育と
市民が常に高い防災意識を持ち続けるための
生涯を通じた防災教育

令和2年2月18日
福知山市市民総務部危機管理室

1　児童・生徒が自らの命を自ら守るための新たな防災教育

現　状

○火災や地震を想定した避難訓練を行っているが、学校運営中を想定した内容となっている。
○登下校時、休日などを想定した災害対応や訓練は実施されていない。
○地域や居住地ごとに災害リスクは異なるが画一的な学習にとどまっている。一部の学校では特別活動で国交者などの協力により地域の災害リスクに応じた学習を行っている。
○中学校生徒会活動では被災地への支援や復旧ボランティアへの参加など実践している。

課　題

○子どもの頃から地域の災害リスクを理解し避難行動につなげるための防災教育が必要。
○子どもたちが、常日ごろから防災に対して意識を持ち続けるような教育が必要。
○子どもの頃から防災に関わり自分たちが活動できるような取り組みについて考えが、地域貢献しようとする意識を醸成することが大切でないか。
○学校で学んだ防災教育を通じ、その内容について家庭や地域において共有し、それぞれのつながりのなかで一緒になった取り組みを行っていくことが必要。

1　地域の災害リスクに応じた防災教育の推進

2　子どもたちに常日ごろから防災に対する意識付けを行う取り組み

3　子どもたちが防災に関わり活動できる取り組み

4　学校で学んだ防災学習の内容を家庭や地域で共有できる取り組み

1　地域の災害リスクに応じた防災教育の推進

子どもたちに自分たちの地域の災害リスクを理解してもらい、自ら適切な避難行動がとれるような教育を行い、自らで命を守ることの大切さを教える教育を推進する！

【検討会での主な意見】

・災害リスクを教えることは重要であるが低学年は恐怖につながることもある。地域の良いところも見つけるような教育が必要。由良川の良さと怖さを理解していくことが必要。

・学校現場においても、毎年度、各学校でハザードマップを活用し、校区内の危険個所や、避難場所、避難経路等を教員が確認・把握する取り組みを行う。

・福知山市で取り組む防災対策について子どもたちに知ってもらう機会を作っていく。

【対応の方向性と調整事項】

小学校教諭等で構成する防災学習研究PTによる事業案・指導案の作成

（令和2年度の取り組み案）

○夏休みの安全な過ごし方「自分の身を守る5則」の作成

○地域の災害リスクを想定した防災訓練の実施

R2年度もPT作業部会を編成し検証。また中学校での展開を検討していく。

R1.10.28

福知山市立有仁（ゆうじん）小学校で防災教育を行いました！

～教室での授業と堤防づくりを現場で体感～

―福知山河川国道事務所―

由良川沿川市（福知山・綾部・舞鶴・宮津）、京都府、京都気象台及び当事務所で構成している由良川減災対策協議会では、ソフト対策の取り組むべき内容として防災教育の充実を挙げております。その取り組みの一環として、福知山河川国道事務所と福知山市が共同して、福知山市立有仁小学校5年生を対象に防災教育を行いました。職員が教室で防災教育に関する授業を行うとともに、児童に阿良須地区で進む堤防整備を現場で見てもらい身近に感じてもらいました。

授業の最後では、「大雨のときにおこる危険について知れた」や「早めに安全なところに避難したい」などといった感想を頂き、防災に関する意識の高まりを感じることができました。実際に重機が動いている工事現場を近くで見ていただくことで、堤防の大切さを学んでもらいました。

位置図

【防災の授業（国交省、福知山市）】

国交省

災害時の避難について、自分の考えを積極的に発表してくれました!!

【概要】
○日時：令和元年10月28日（月）
9：40～12：20
○場所：福知山市立有仁小学校
○参加人数：有仁小学校5年生 12名

福知山市

防災マップを利用したグループワーク

【現場体験】輪中堤整備についての説明　重機（バックホウ）乗車体験　大迫力の遮断機械を間近に見学

【児童の感想】
・避難する際はしっかり準備とともに避難する場所を確認しておくことが必要だと思った。
・台風の時に実際に避難したことはないが、もし避難するときは早め早めに避難しようと思った。
・自分の家は一度も浸かったことが無いが、水害の危険があれば避難できるようにしたい。
・実際に工事現場を見て、堤防が洪水から人を守っていることが分かった。
・堤防を造っているところを初めて見たが、何日間もかけて造っていてびっくりした。

【問い合わせ先】
国土交通省　近畿地方整備局　福知山河川国道事務所　調査課
〒620-0875　福知山市字堀小字今岡2459-14　0773－22－5104（代表）

現在も国土交通省による「水防災意識社会」の再構築に向けた緊急行動計画に基づく取り組みの一つとして「由良川減災対策協議会」による小学校児童を対象として防災教育を実施している

（内容）

○大雨が降ったときの危険と地域にある良いところを知ろう

○住んでいる地域の災害リスクを知り避難を考えよう

○築堤工事現場の見学

子どもたちに改めて地域の良いところ、危険なところを確認してもらいながら、災害や避難について考える機会としてもらう。

今後も、本市の防災教育の取り組み方針と整合性をはかりながら国土交通省と連携しながら防災教育に積極的に取り組み、防災意識の高い地域づくりを進めていきます。

（写真）国土交通省福知山河川国道事務所プレス資料

２　常日ごろから防災に対する意識付けを行う取り組み

子どもたちに、災害の記憶を伝えて行くとともに、常に防災に関わる内容に触れていく教育を行い、高い防災意識を醸成し、命を守ることの重要性を学ぶ教育を推進する！

【防災学習研究ＰＴへのアドバイザー　兵庫県立大学　阪本准教授のアドバイス】
・過去の災害の記憶を風化させないことが大切。身近な災害や転機となった大災害など朝礼や授業のなかで触れるよう福知山版防災カレンダーを作成する。
・教科書に記載されている災害に関するキーワードを抽出し、防災に結び付けた指導を年間を通じて実施していく。

【対応の方向性と調整事項（案）】

〇福知山版防災カレンダー作成　　〇教科書の防災・災害関連ワードを活用した授業研究

〇ふるさと学習、安全教育の中で、災害体験者から話しを聞くなど、災害の記憶を伝承できる取り組みの実施。

３　子どもたちが防災に関わり活動できる取り組み

子どもたちが自ら考え、社会貢献に取り組める力を育む防災教育をすすめる！家庭や地域とつながることで自分の身を守ること、家族や地域の人の命を守る取り組みにつなげていく。

【委員からの意見】
・避難所を手伝うとか「逃げなきゃコール」をおじいちゃん、おばあちゃんにしてあげるとか、自分が助けることとして出来ることを教えてあげるほうが子どもたちは関心を持つ。

【対応の方向性と調整事項（案）】

〇子どもたちがやりがいをもって社会貢献できることを学習できるよう、授業研究を進める。

・逃げなきゃコール、避難所運営の手伝いなど子どもたちが関心を持って出来ることに取り組んでいく。

4　防災学習の内容を家庭や地域で共有できる取り組み

防災学習の内容を各家庭において共有し、避難に対する家庭の決め事「我が家の避難計画」の作成や、また、地域の良さや災害リスクを知り、地域での防災訓練にも参加し、地域と子どもたちが連携して防災活動を行っていく環境づくりを進めていく。
家庭や地域と連携して取り組むことで、自らや身近な人を守る防災意識をもった子どもたちを育成する！

【課題】
・学校での防災教育を通じ、学んだ内容を家庭でも共有し、災害時の避難のあり方を話し合うなど防災意識の高揚につなげる必要がある。
・子どもたちは、登下校時や休日など、学校以外の場所での災害も想定する必要があり、地域と連携した防災教育が推進できるよう、地域でも子どもたちが防災に関われる取り組みが必要である。

【対応の方向性と調整事項（案）】

〇我が家の避難計画の取り組み研究

・各家庭において、災害時の避難についての取り決めとして我が家の避難計画の策定などの取り組みなども研究。

〇防災訓練への参加を促進

・地域の防災訓練で子どもたちが取り組める内容も組み
教育を推進する。

〇保護者との学習内容の共有

・夏休みの過ごし方を学習するなかで、身近な災害リスクや避難場所について確認し、保護者へもお便りなどで学習内容を知らせ、意識を共有する。

家庭での我が家の避難計画の策定

地域の防災訓練に参加

2 市民が常に高い防災意識を持ち続けるための生涯を通じた防災教育の推進

現　状

○生涯を通じた防災教育の取り組みとして、災害から命を守るためにには、災害への備え、対応を学ぶ必要があることから、ハザードマップを活用した出前講座、防災講演会の開催・対応や広報紙での啓発、マイマップ作成支援の取り組みなどを行っている。
○近年、5年の間に4回もの大きな災害が発生しており、市民の防災に対する意識は高くなっているが、災害から遠ざかると意識が薄れていくことが懸念される。

課　題

○市民が災害リスクへの理解や避難の必要性について情報を共有し、必要な避難のあり方について常日頃から高い防災意識を付けを行うことが必要。
○地域全体で高い防災意識を持ち続けるためには、自主防災組織や防災リーダーを中心とした体制の確保と強化が必要。
○過去の災害の履歴を語り継ぎ、伝承していくことで、住民が災害の歴史とリスクを理解し、適切な避難行動につなげていく生涯教育が必要。

1　高い防災意識を持ち続けるためのマイマップ・マイタイムラインの作成と活用

2　自主防災組織の強化とリーダーの養成

3　過去の災害の履歴資料を活用した防災教育の推進

1　高い防災意識を持ち続けるためのマイマップ・マイタイムランの作成と活用

各地域において、自分たちの地域の災害リスクを理解し、常日ごろから防災に対して高い意識を持ち続けるために、災害時の避難のあり方などについて地域での対応を定めたマイマップ・マイタイムランを作成し、住民がその内容を共有し、リスク環境を肌で感じるとともに、それを活用した実践的な避難訓練を実施することで地域住民の防災に対する理解と意識の高揚を図っていく。

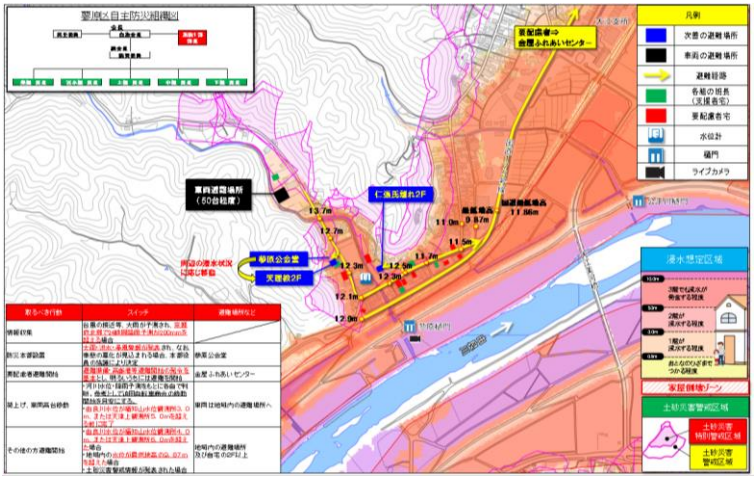
【対応の方向性と調整事項（案）】

○マイマップ・マイタイムラインの作成・促進

地域の災害リスクの確認、避難先や避難のタイミングなど、地域で知恵を出し合い作成するマイマップの作成を市域全域で推進。

○マイマップ・マイタイムラインを活用した防災訓練の実施

地域において、マイマップを活用し、災害を想定した実践に即した防災訓練を行い、住民の適切な避難行動について意識付けを行う。



マイマップの作成とマップに基づく避難訓練の実施

２　自主防災組織の強化とリーダーの養成

「自分たちの地域は自分たちで守る」という考えのもと、防災意識の高い自主防災組織体制を構築し、自主防災組織、民生児童委員、消防団等と連携した取り組みにより啓発活動や住民の安全な避難につなげていくことが必要であり、先進的な取り組みを紹介しながら体制整備を図っていく。

また、自主防災組織の取り組みを牽引するリーダーが必要であり、研修等により防災リーダーの育成を図り、地域の災害対応能力を向上させる。

さらに、自主防災組織強化やリーダー養成に対する支援内容についても検討を進める。

【対応の方向性と調整事項（案）】

○自主防災組織強化に向けた体制整備の推進

先進の取り組み事例を紹介しながら体制拡大

○自主防災組織をリードする人材の育成の推進

防災リーダーの育成を図るため、消防による防災リーダー養成講座を継続して実施。

○自主防災組織強化、リーダー養成等に関する支援策の検討

（自主防災組織・消防団等が中心となった防災対策の展開）

・地域での防災訓練の実施

・地域内の情報伝達体制の構築

・地域における高齢者等の避難支援体制の構築

防災リーダー養成講座（受講者数初級2,286人、中級564人）

3　過去の災害の履歴資料を活用した防災教育の推進

過去の災害の記憶を風化させないよう市民の皆さんや行政が、市民に対し機会あるごとに災害の履歴について紹介し、伝承していくことで、市民が災害の歴史と災害リスクを理解をしたうえで適切な避難行動につなげていける教育を実施していく。

【対応の方向性と調整事項（案）】

〇災害の記憶を伝承していくため、出前講座や広報紙などで紹介していくほか、治水記念館や市内に設置されている水害伝承碑などの紹介しながら災害リスクに対する意識の醸成に向け継続して取り組む。

〇災害体験者から直接災害の記憶を語っていただくことで、若い人たちにもしっかり災害の歴史とリスクを伝え、身を守る行動につなげていく。

平成25年台風18号災害

堤防決壊之地碑

福知山市治水記念館

昭和28年水害の様子

テーマ６．
災害リスクを理解し避難行動につなげるための防災教育の推進！

取り組むべき内容とスケジュール(案）　（学校教育）

No.	内容	役割	スケジュール	R2出水期への具体的対応
1	地域の災害リスクに応じた防災教育（自分の身を守る5則など）	教育委員会 各小学校	R2年度～	
2	防災の意識付けを行う取り組み（福知山版防災カレンダーなど）	教育委員会 各小学校	R2年度～	
3	子どもたちが防災に関わり活動できる取り組み研究（逃げなきゃコールなど）	教育委員会 各小学校	R2年度～継続して	
4	家庭や地域で共有できる取り組みの推進（地域の防災訓練への参加など）	教育委員会 各小学校 家庭・地域	R2年度～継続して	

テーマ６．
災害リスクを理解し避難行動につなげるための防災教育の推進！

取り組むべき内容とスケジュール(案）　（生涯教育）

No.	内容	役割	スケジュール	R2出水期への具体的対応
1	高い防災意識を持ち続けるためのマイマップ・マイタイムランの作成と活用（防災訓練の実施など）	作成：自主防災組織 支援：市	R2年度～順次	
2	自主防災組織の強化とリーダーの育成	地域・市	R2年度～継続して	
3	過去の災害の履歴資料を活用した防災教育の推進	市・市民	R2年度～順次	

学校・家庭・地域のつながりの中で、市民全体の防災教育を展開し、防災意識の高い福知山を形成！